

2025年度事業報告書

2025年4月1日より2026年3月31日まで

公益財団法人 窓研究所

I. 事業活動

公1 建築文化に関する助成事業

(ア) 研究助成（公募）

建築文化に関連する領域にて、新規性、独創性が高く、学術的、社会的に広がりのある研究を募り、その研究活動へ助成を行うことで、建築文化の発展と振興を総合的に促進することを目的といたします。今年度は、採択予定数が10件のところ、応募数が前年比で大きく増加したため、17件を採択し助成金を支給いたしました。

また、助成研究成果公表の場として、研究報告会を4月20日に開催いたしました。

海外助成として、CCA（カナダ建築センター）への研究者派遣事業は第一期（2022年～2024年）を総括し、成果冊子を発行しました。第二期（2026年～2028年）においては選考委員会で選ばれた4件を採択しました。

(イ) 出版助成（公募）

建築文化に関連する領域にて、新規性、独創性が高く、学術的、社会的に広がりのある国内未刊行の書籍・図画を募り、その出版への助成を行うことで、建築文化の発展と振興を総合的に促進することを目的といたします。今年度は、採択予定数3件のところ、応募数が前年比で大きく増加したため、5件を採択いたしました。また、2024年度に採択した3案件が刊行され、助成金を支給いたしました。

(ウ) 文化活動助成（公募）

建築文化に関連する領域にて、新規性、独創性が高く、学術的、社会的に広がりのある展覧会、講演会、シンポジウム等を募り、その活動への助成を行うことで、建築文化の発展と振興を総合的に促進することを目的といたします。今年度は、採択予定数4件に対し応募数が前年比で大きく増加したため6件を採択し、助成金を支給いたしました。

公2 建築文化に関する普及啓発事業

(ア) 展覧会等

建築文化に関わる芸術および学術分野の発展と普及啓発を図ることを目的として、展覧会等を開催いたします。展覧会等は不特定多数に向けた社会性を意識した建築文化への興味を高める内容とし、必要に応じ、展覧会期間中に、ワークショップや講演会等を開催するとともに、他の公益財団法人・独立行政法人等とも連携するなどして、広く普及啓発を行います。

「第19回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展」においては出展協力として、制作した建築家と美術家による展覧会に関する寄稿記事をウェブサイトにて発信しました。

「Villum Window Collection展示」においては27年度開催に向けて展示企画や調査等の準備を進めましたが、共催相手の事情により展示中止となりました。

(イ) 講演会、シンポジウム等

建築文化に関わる芸術および学術分野の発展と普及啓発を図ることを目的として、講演会、シンポジウム、トークイベント、研究報告会等を開催いたします。講演会等は不特定多数に向けた、より専門的な知識や思考を深める内容とし、必要に応じ、他の公益財団法人・独立行政法人等と連携し、意識の高い方々の主体的な参加を促すことで普及啓発を行います。

VWCOとの共催による「コペンハーゲンビエンナーレイベント」では五十嵐理事による講演と、障子に紙を貼るワークショップを開催しました。

「内田祥哉の見た日本」の出版イベントは書籍出版の見通しがつかず、中止となりました。

(ウ) 各種媒体による情報発信等

建築文化に関わる芸術および学術分野の発展と普及啓発を図ることを目的として、建築文化に関連する幅広い知見や調査研究結果の公表等を、国内外へ向け適切な手段を用いつつ、継続的に情報発信し提供することで、より幅広い方々への普及啓発を行いました。

(a)・ホームページ、SNS、ニュースリリース、メールマガジン等電磁的方法による情報発信を行いました。

・窓に関連する新規記事を発信。年間27件を配信いたしました。

(インタビュー／コラム／リサーチ)

(b)・調査成果の書籍出版のための準備を行いました。

(c)・他団体の出版、文化活動等に対する協賛等は案件がありませんでした。

(d)・その他普及啓発に必要な広報活動等を随時行いました。

(エ) 調査等

建築文化に関わる芸術および学術分野の情報提供のため、社会ニーズを踏まえた各種情報の収集および調査を行います。情報収集および調査テーマについては近年の傾向や社会的な需要があるものを設定いたします。

・「窓の事例集」「窓の用語集」のデータベースに情報追加を行いました。

・「窓にみる日本建築の境界装置と窓」の中間進捗会を開催しました。

・「アジアモダニズムの窓」を新たな研究テーマとして着手しました。

II. 管理活動

1 理事会に関する事項

2025年 5月13日 第30回 定時理事会の実施(書面決議)

2025年 7月25日 第31回 臨時理事会の実施(書面決議)

2025年10月 9日 第32回 臨時理事会の実施

2025年12月 8日 第33回 臨時理事会の実施(書面決議)

2026年 3月17日 第34回 定時理事会の実施

2 評議員会に関する事項

2025年 6月 9日 第12回 定時評議員会の実施

以 上

2025年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2026年6月30日

公益財団法人窓研究所財務諸表に対する注記

貸借対照表
2026年3月31日

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
預金			
普通預金	11,330,873	11,157,790	173,083
当座預金	99,647,386	6,890,160	92,757,226
貯蔵品	13,280	16,280	△ 3,000
流動資産合計	110,991,539	18,064,230	92,927,309
2. 固定資産			
(1)基本財産			
預金			
普通預金	51,025,956	50,961,109	64,847
当座預金	637,342,096	1,199,663,126	△ 562,321,030
投資有価証券	392,810,000	198,470,000	194,340,000
特定金銭信託	6,250,484,719	5,406,451,871	844,032,848
基本財産合計	7,331,662,771	6,855,546,106	476,116,665
(2)特定資産			
什器備品	2,406,483	4,311,957	△ 1,905,474
ソフトウェア	1,967,167	5,025,167	△ 3,058,000
建物付属設備	2,506,635	2,841,553	△ 334,918
特定資産合計	6,880,285	12,178,677	△ 5,298,392
(3)その他固定資産			
什器備品	128,917	325,129	△ 196,212
その他の固定資産合計	128,917	325,129	△ 196,212
固定資産合計	7,338,671,973	6,868,049,912	470,622,061
資産合計	7,449,663,512	6,886,114,142	563,549,370
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	19,697,348	17,920,382	1,776,966
預り金	340,982	143,848	197,134
流動負債合計	20,038,330	18,064,230	1,974,100
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	20,038,330	18,064,230	1,974,100
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	7,338,543,056	6,867,724,783	470,818,273
指定正味財産合計	7,338,543,056	6,867,724,783	470,818,273
(うち基本財産への充当額)	(7,331,662,771)	(6,855,546,106)	(476,116,665)
(うち特定資産への充当額)	(6,880,285)	(12,178,677)	(△5,298,392)
2. 一般正味財産	91,082,126	325,129	90,756,997
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	7,429,625,182	6,868,049,912	561,575,270
負債及び正味財産合計	7,449,663,512	6,886,114,142	563,549,370

正味財産増減計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産運用益	295,178,658	—	295,178,658
受取利息	299,298	—	299,298
受取寄付金振替額	5,298,384	188,249,725	△ 182,951,341
経常収益計	300,776,340	188,249,725	112,526,615
(2) 経常費用			
①. 事業費	163,045,270	148,348,928	14,696,342
助成事業費	87,523,666	70,404,810	17,118,856
普及啓発事業費	59,291,127	63,637,651	△ 4,346,524
事業共通費	16,230,477	14,306,467	1,924,010
②. 管理費	47,101,450	40,180,290	6,921,160
経常費用計	210,146,720	188,529,218	21,617,502
評価損益等調整前当期経常増減額	90,629,620	△ 279,493	90,909,113
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	90,629,620	△ 279,493	90,909,113
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取寄付金振替額	8	0	8
支払助成金返還額	127,378	0	127,378
経常外収益計	127,386	0	127,386
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	9	0	9
経常外費用計	9	0	9
当期経常外増減額	127,377	0	127,377
当期一般正味財産増減額	90,756,997	△ 279,493	91,036,490
一般正味財産期首残高	325,129	604,622	△ 279,493
一般正味財産期末残高	91,082,126	325,129	90,756,997
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	500,000,000	500,000,000	0
基本財産運用益			
基本財産運用益	—	277,335,748	△ 277,335,748
受取利息	—	337,177	△ 337,177
基本財産評価損益等	△ 23,883,335	△ 45,216,593	21,333,258
一般正味財産への振替額	△ 5,298,392	△ 188,249,725	182,951,333
当期指定正味財産増減額	470,818,273	544,206,607	△ 73,388,334
指定正味財産期首残高	6,867,724,783	6,323,518,176	544,206,607
指定正味財産期末残高	7,338,543,056	6,867,724,783	470,818,273
III 正味財産期末残高	7,429,625,182	6,868,049,912	561,575,270

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

…決算時の市場価格等に基づく時価法を採用しております。

市場価格のない株式等

…個別法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産及びソフトウェアについては、定額法を採用しております。

(3) 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

3. 会計方針の変更

該当事項はありません。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(1) 基本財産				
預金				
普通預金	50,961,109	97,697	32,850	51,025,956
当座預金	1,199,663,126	882,174,458	1,444,495,488	637,342,096
投資有価証券	198,470,000	200,000,000	5,660,000	392,810,000
特定金銭信託	5,406,451,871	1,817,270,190	973,237,342	6,250,484,719
小計	6,855,546,106	2,899,542,345	2,423,425,680	7,331,662,771
(2) 特定資産				
什器備品	4,311,957	0	1,905,474	2,406,483
ソフトウェア	5,025,167	0	3,058,000	1,967,167
建物付属設備	2,841,553	0	334,918	2,506,635
小計	12,178,677	0	5,298,392	6,880,285
合計	6,867,724,783	2,899,542,345	2,428,724,072	7,338,543,056

(注) 当期増加額及び当期減少額は、基本財産内部及び特定資産内部の増減を除いております。

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)
(1) 基本財産			
預金			
普通預金	51,025,956	51,025,956	0
当座預金	637,342,096	637,342,096	0
投資有価証券	392,810,000	392,810,000	0
特定金銭信託	6,250,484,719	6,250,484,719	0
小計	7,331,662,771	7,331,662,771	0
(2) 特定資産			
什器備品	2,406,483	2,406,483	0
ソフトウェア	1,967,167	1,967,167	0
建物付属設備	2,506,635	2,506,635	0
小計	6,880,285	6,880,285	0
合計	7,338,543,056	7,338,543,056	0

6. 固定資産の取得価額、減価償却費及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
什器備品	18,321,484	15,915,001	2,406,483
ソフトウェア	17,166,200	15,199,033	1,967,167
建物付属設備	5,631,526	3,124,891	2,506,635
小計	41,119,210	34,238,925	6,880,285
その他固定資産			
ソフトウェア	3,326,669	3,326,669	0
什器備品	4,235,298	4,106,381	128,917
小計	7,561,967	7,433,050	128,917
合計	48,681,177	41,671,975	7,009,202

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
指定寄付金の使用による振替額	5,298,392
合計	5,298,392

8. その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」等の改正に伴い、従来、指定正味財産増減の部から一般正味財産増減の部へ振り替えていた基本財産運用益を、当期より一般正味財産増減の部に計上しております。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載しているため、内容の記載を省略しております。

財産目録
2026年3月31日

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	預金	普通預金	公益目的事業の運転資金として	10,213,493	
		普通預金	管理活動の運転資金として	1,117,380	
		当座預金	公益目的事業の運転資金として	4,347,088	
		当座預金	管理活動の運転資金として	95,300,298	
		手元保管（切手等）	管理活動に供する貯蔵品	13,280	
		流動資産合計			110,991,539
(固定資産) 基本財産	預金	普通預金	公益目的保有財産として運用益を公益目的事業に使用している	24,282,665	
		普通預金	管理活動財産として運用益を管理活動に使用している	26,743,291	
		当座預金	公益目的保有財産として運用益を公益目的事業に使用している	234,353,085	
		当座預金	管理活動財産として運用益を管理事業に使用している	402,989,011	
	投資有価証券	社債	公益目的保有財産として運用益を公益目的事業に使用している	196,405,000	
		社債	管理活動財産として運用益を管理事業に使用している	196,405,000	
	特定金銭信託	債券	公益目的保有財産として運用益を公益目的事業に使用している	3,125,242,360	
		投資信託	管理活動財産として運用益を管理活動に使用している	3,125,242,359	
		債券	管理活動財産として運用益を管理活動に使用している	3,125,242,359	
		投資信託	管理活動財産として運用益を管理活動に使用している	3,125,242,359	
	特定資産	什器備品	フィルム、展示品	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	509,288
		什器備品	壁面収納、テーブル、複合機	法人管理財産であり、法人管理活動に使用している	1,897,195
ソフトウェア		ウェブサイト制作	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1,967,167	
建物付属設備		千代田区神田和泉町1-1 照明工事、電気工事、床工事	法人管理財産であり、法人管理活動に使用している	2,506,635	
その他固定資産	什器備品	絵画、像、フィルム等	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	128,913	
	什器備品	カメラ、ビデオカメラ、プロジェクター、チェア	法人管理財産であり、法人管理活動に使用している	4	
固定資産合計				7,338,671,973	
資産合計				7,449,663,512	
(流動負債)	未払金	委託費、給料等に対する未払金等	公益目的事業、法人管理活動に供する備品購入等の未払い分	19,697,348	
	預り金	源泉税預り金	公益目的事業、法人管理活動に供する預り金	340,982	
流動負債合計				20,038,330	
固定負債合計				0	
負債合計				20,038,330	
正味財産				7,429,625,182	